

本当に内容の濃い研究室配属でした。これにつきます。なんと言っても、二年生の実習で行ったことばかりなのに、原理を知らながらやるのとそうでないのでは身につくものがあるかなにも違うのかと思い知らされました。二年生の実習では正直、早く帰ることを目標にまいちどうしてこの作業を行っているのか考えもせず、ただ効率ばかりを気にして実験を行っていました。しかし今回、桑迫先生による毎回のミニ講義により、今から行う実験がどのような原理でどのような目的で行うのか質問を受けながら理解を深めることで有意義に実験を行うことができました。同時にいかに自分が頭ごなしに勉強してきたか、つまり考えるということをせず、その場しのぎの暗記を行ってきたかを実感しました。質問されても（とても基礎的なことなのに）答えられず、そして自分がテストだけの勉強をしてきていることがよく分かったのです。なんでどうしてって思う前に、そういうものだから覚えるしかないのだ、時間がないからとりあえず覚えてしまおうというスタンスです。でも結局その頭ごなしに覚えた知識は使いこなせていません。その暗記した時間が無駄だと思いました。実際、桑迫先生からご教授いただいたように、考えながら物事を理解しながら勉強すると芋づる式に知識が出てきます。今の私のような一個一個単発で暗記していても使える場面がそうそうありません。最後の研究室配属日に自分たちでPCR組成のプランを立てられたのは、どうしてこの物質を入れるのかどうしてこの量入れるのか理解できているからです。そこまで理解できるようになったのは本当に毎回のミニ講義のおかげだと思いました。同時に、研究は失敗しても得られるものがたくさんあるのだと感じ、考察できる、そして失敗しても臨機応変に対応できる能力が必要だと実感しました。でも正直私には少し無理かなとも思いました。本当に研究者というのはアイデアが浮かんでこないと生きていけないものだと思います。今、私たちは先生にこれこれしてといわれるままに実験を行っています。しかし、研究者なるものは、この世界でだれも成し遂げていないことを成し遂げないと食べていけません。自分に自信がないのか、私には無理かもしれないなと思ってしまいます。でも、考えるという癖は今後本当につけていきべきです。研究者になるなら関係なく、考えることを習慣づけすれば、今後国家試験なり研修医として働く段階になってもそのあとも自分の武器になります。今の楽さをとるのではなく、今後の自分のキャリアのためにできる範囲で徹底していこうと思います。先生の質問に拙い頭で考えが出ないこともあって、つらいなと思ったこともありました。でも、答えられなかったから卑屈になるのはやっぱり違います。自分のこの現状に危機感を感じました。このままではだめだと思い知らされました。気づかしてくださって本当に感謝します。そして、時間も長々と集中せずに勉強をする癖があるのでそれも辞めます。短期集中でやるときはやるのスタンスでテスト勉強なり頑張っていきたいです。表にまとめることも視覚的に暗記できるノートを作る大事さも学びました。もっと賢い医大生として勉強の仕方、物事の考え方の転換をしていきたいです。本当に、4週間ありがとうございました。